温暖化対策・環境創造・資源循環対策委員会
平成 28 年４月 18 日
環境創造局説明資料

横浜市水と緑の基本計画の改定（原案）について

「横浜市水と緑の基本計画」の改定につきましては、本年２月の温暖化対策・環境創造・資源循環委員会、及び、建築・都市整備・道路委員会で改定素案を報告させていただきました。

その際のご意見や、改定素案に対するパブリックコメントでのご意見等を踏まえ、必要な修正を行い、原案を策定しました。

１　パブリックコメントの概要

意見募集期間	平成 28 年２月 23 日（火）から３月 24 日（木）まで
提出者数	56 名（意見数 111 件）

いただいたご意見の内訳

（１）改定原案に反映したもの	11 件
（２）ご意見の趣旨が改定素案に含まれていると考えられるもの	12 件
（３）計画にご賛同いただいたもの	19 件
（４）今後の事業・取組の参考とさせていただくもの	56 件
（５）その他の意見	13 件

２　改定素案からの主な変更点（下線部が変更箇所）

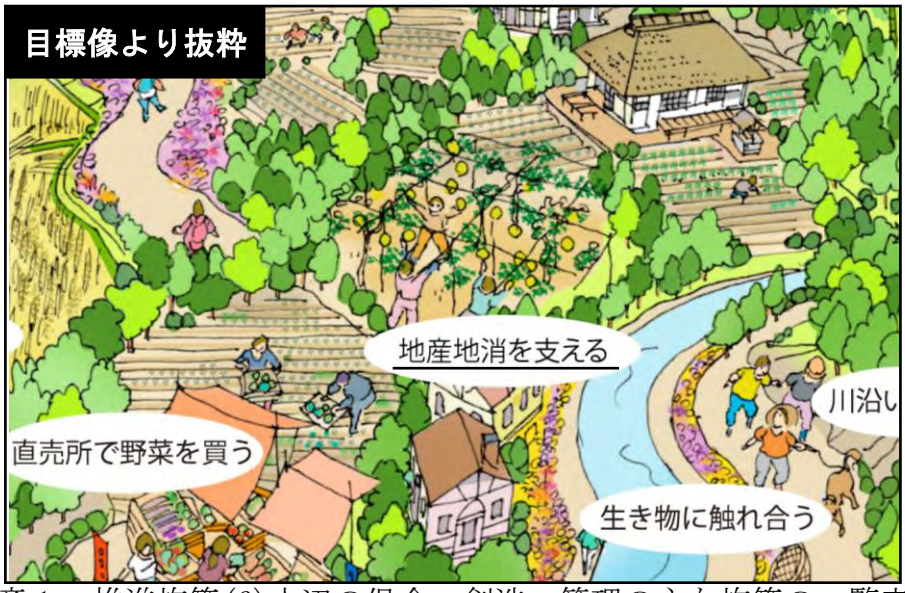
（１）パブリックコメントでのご意見を踏まえた主な変更点

	市民意見	該当箇所	変更内容
ア	公園緑地が子供の貴重な遊び空間であることを機能として説明してほしい。	第１章 ２．多面的な機能 （15 ページ）	多面的な機能に「子供の遊び場」を追記。 ＜変更後の本文＞ 魅力的な水・緑環境は、文化・芸術を育み、また、散策や花見、**子供の遊び場**などレクリエーションの場となる機能があります。
イ	横浜みどりアップ計画の取組により、成果が上がっていることを明確に示してはどうか。	第２章 １．これまでの取組の成果を踏まえた課題 (1) 量的な確保が今後も必要 （17 ページ）	これまでの取組の成果として「横浜みどりアップ計画により、樹林地や農地の保全が進んできた」ことを追記。 ＜変更後の本文＞ …。緑については、**「横浜みどりアップ計画」などによる、**樹林地や農地の保全、緑化の推進のほか、公園の整備などの取組が着実に進みました。
ウ	隣接する市町村との連携等も計画に盛込むべき。	第４章 １．流域ごとの水・緑環境をつくり・高めます (3) 流域ごとの推進計画の内容 （58 ページ）	隣接市町村との連携について、全ての流域で取り組むことを追記。 ＜変更後の本文＞ **周辺都市と連続している鶴見川、境川、柏尾川をはじめ、各流域について、**国、県、他都市と連携した広域的な対応を進めます。

	市民意見	該当箇所	変更内容
エ	プレイパーク活動の支援を継続することを記載してほしい。	第５章 １．推進施策 (3)公園の整備･維持管理・経営 ③維持管理・経営 （119 ページ）	主な施策の一覧表に「プレイパーク」の項目を追加。 ＜変更後の本文＞ 主な施策　**プレイパークの支援** 公園を利用したプレイパークを支える市民活動の支援を継続し、市民との協働により拡充していきます。
オ	水・緑環境を地域の小学生の自然学習の場としても活用することを加えたほうが良い。	第５章 １．推進施策 (6)水辺の保全･創造・管理 （141 ページ）	主な施策『河川水辺空間の保全と活用』に「学校などの多様な主体と連携すること」を追記。 ＜変更後の本文＞ …。あわせて、**学校など多様な主体と連携し、**身近な自然体験やレクリエーションの場として活用します。

（２）市会でのご意見を踏まえた変更点

ア　第３章の目標像のイラスト内に「地産地消を支える」という説明を追記（46～47 ページ）



イ　第５章１．推進施策(6)水辺の保全・創造・管理の主な施策の一覧表に「歴史的橋梁の保全」の項目を追加（141 ページ）

＜変更後の本文＞

主な施策　**歴史的橋梁の保全**

関東大震災の復興事業として整備された「震災復興橋梁」など歴史的橋梁を保全します。

（３）その他の変更点

・図表データの時点修正

・記載の統一や表現の修正

＜参考資料＞

「横浜市水と緑の基本計画」改定原案（冊子）